

町名の由来となった鏡沼伝説

鏡石町生涯学習文化協会長 小貫 幸子



鏡石町生涯学習文化協会長
小貫 幸子 さん



「鏡沼伝説にふれよう」

「議会だより」に町民の声を書かせてもらう機会をいただいて、どの方面の意見を述べようかと考えたところ、今、私たちが実践している、生涯学習協会自主事業「鏡沼伝説にふれよう」について書いてみようと思います。「鏡石町文化財指定一号、指定年月日、昭和44年12月5日、所在地、鏡田かげ沼町228」に今、記念碑と俳聖、松尾芭蕉と曾良の石像が有ります。伝説は、鎌倉時代、源頼朝の死後、北条政子とその実父時政の悪政に謀反した、和田平太胤長は、捕らえられて奥州岩瀬に配流され、死刑にされました。そのことを知らずに夫に会いた

い一心から女ひとりて奥州への旅を決心した天留夫人がやつの思いで鏡石の地にたどり着き、夫に会えるうれしさで身をつくろい化粧をすませた夫人に土地の人がもうすでに平太はこの世にはいないことを告げました。天留夫人は悲憤のどん底に泣きくずれ化粧なおしの鏡を胸に抱き夫の後を追って沼に身を投げてしまいました。沈んだ鏡はいつまでも沼の底で照り輝いていたと言われ、それから「鏡沼」と言われるようになりました。

この伝説は、今から806年前のことと白河風土記に記録されています。芭蕉が奥の細道で元禄二年にかけ沼の紀行文を残しています。鏡沼悲話から476年後のことです。今年、芭蕉の奥の細道30年に当たります。5月14日の民報新聞にも鏡沼の写真が大きく載り「行ってみっぺ

ントにも約50名の人が、昔話、詩吟、太極扇、書道等々を楽しんでくれました。鏡石町にすばらしい文化財と観光資源があることを町内はもちろん、町外にも発信し続けて、鏡石を訪れてくれる人が少しずつでも増えてくれることを願って、ボランティアで協力してくれる人達と「鏡沼伝説にふれよう」を開催し、町民との交流の場となる様に続けていきたいと思えます。町を元気にすることは町民一人ひとりの努力が大切です。町の貴重な文化財にも関心を持っていただき、次の世代に伝えていくことが必要です。「温故知新」新しいことに向かう時にも、古きを識ることも大事だと思えます。



西光寺での活動

6月、第16回鏡石町議会定例会が開かれました。我々議員4年間の任期の最後の定例会で考えることの多い定例会でありました。
「この4年、「開かれた議会」をめざし、議会改革に取り組んできましたが、まだまだ「改革」道半ばの状況です。その中で、「広報広聴」の活性化で言うならば次回の議会からは広報委員会が常任委員会化される事になりました。このことは、町民参加、公正で透明な議会を考えると、多少進歩したかと思われます。新たな町議会議員が選ばれ、人が変わっても、今後も議会改革に取り組み、町民に信頼される議会となるよう努めなければならぬと考えます。

編集後記

発行責任者

議長 渡辺 定己

広報編集委員会

- 委員長 小林 政次
- 副委員長 木原 秀男
- 委員 古川 文雄
- 委員 菊地 洋
- 委員 長田 守弘
- 委員 畑 幸一

かがみい

議会だより

第16回定例会	2ページ
議運所管事務調査	3ページ
一般質問	4・5ページ
審議の結果	6・7ページ
町民の声	8ページ

眠れる森の美女

本年度の作品は、グリム童話からの出典。

No.173
令和元年8月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒969-0692 福島県鏡石町
電話0248(62)2110
印刷 南米山印刷

子育て支援・移住定住など 増額補正予算を可決

第16回鏡石町議会定例会は6月10日(月)から14日(金)まで開かれ、平成30年度補正予算などの専決処分や国民健康保険条例、介護保険条例の一部改正、令和元年度一般会計補正予算など合わせて28の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月11日(火)に行われ、2名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。



交通指導を受ける保育園児

専決処分など報告 12件を承認

今定例会では専決処分等12件の報告があり、一般会計及び特別会計合わせて8会計の年度末精算に係る補正や一般会計、農業振興整備計画総合見直し事業の継続費、道路整備2事業の繰越明許費について、報告のとおり承認されました。

移住定住支援・子育て支援・道路整備などに増額補正予算

令和元年度一般会計補正予算では、歳入歳出総額106,231千円を増額する補正予算を審議し、原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。
・来て「かがみいし」移住定住促進事業1,745千円
・ふくしま移住支援金3,200千円

陳情3件を採択

今定例会では、8件の陳情が審議され、採択3件、不採択2件、継続審査が3件となりました。採択された陳情は次のとおりです。
1. 教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める陳情
2. 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情
3. 国連の「沖縄県民は先住民」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情



表彰を受ける渡辺定己議長

自治功労者 表彰伝達

平成31年2月6日開催の全国町村議会議長会第70回定期総会において表彰を受けた自治功労者表彰の伝達式が第16回定例会に先立ち行われました。渡辺定己議長が、議長在職7年以上での授賞、及び町議会議員として15年以上の在職としての授賞、二つの自治功労表彰を授賞されました。おめでとうございます。

議員が

町政を問う

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
4	今 泉 文 克	○ 鏡石町第5次総合計画について ○ 安定的な財政確保について ○ 産業振興について
5	畑 幸 一	○ 活力ある町づくりの展望と行政の課題

議会傍聴へお越し下さい

次回の9月定例会は、新たな任期が始まる第1回定例会であり、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

議会運営委員会 事務調査報告

今回の議会運営委員会の所管事務調査は、神奈川県大井町、箱根町の先進的な2つの議会について調査研修してきたが、いずれも議員自ら考え実践している熱意と行動力そして、議会自らの情報発信力について大変参考になりました。まず、大井町議会では議会基本条例制定後1年で議会改革研究会を立ち上げ、具体化する取り組みや評価・検討を行い、議会自ら活性化に取り組みながら、町民の負託にこたえ、信頼され存在感のある議会となるよう努めることとしています。また議会報告会は、「町民との意見交換の場」の一つとして、議会自らが町民に議会活動の状況等を報告するとともに、町民の関心や意見を聞く機会として、年1回以上町内各地域の会場で開催しています。

箱根町議会においては、平成27年「箱根町議会の活性化に向けた理念と方針」を策定し、「町民から最も頼りにされる議会」を基本理念に捉え、議会活性化に向けた調査・研究を進めています。議員

一丸となって、町民との協働のもと、町民に開かれた、参加しやすい議会の実現や公正で透明性の高い議会運営を進め、議員の資質の向上や議会機能の強化に努めています。更に町民の多様な意見を把握し、町政に反映させるための取り組みとして、「箱根町議会と町民の意見交換実施要項」に基づき、意見交換会を実施しています。今回の事務調査では、いずれも多くの実績を誇る議会・議員活動が実施されており、議員各位の意識の高さを実感しました。



視察研修の様子

〇活力ある町づくりの展望と行政の課題

畑 幸一議員

総務課長 平成30年度全国で約42万人の自主返納、県内では5964人、管内では205人、町

質 問 運転者の免許証返納について

福祉こども課長 平成27年の国勢調査によると当町のひとり暮らしは全世帯数の8.6%の361世帯と、県平均の10.6%を下回っている。今後も少子高齢化、団塊世代の高齢化が進むため、閉じこもりを防止するための施策が必要である。

質 問 高齢者ひとり暮らしの実態について

町長 中小企業、小規模事業者経営に各種資金の利子補給や空き店舗の解消、創業者の支援家賃補助、店舗改修費の一部補助等を支援している。

質 問 まちなか商業の活性化振興対策について

健康環境課長 我が国の食品ロス量は、平成28年度で643万tと推計

質 問 食品ロスのもったいない取り組みの対応

総務課長 本町の昨年の発生状況は、発生件数は25件、死者数0名、傷者数は31名となっている。死者数0名については、平成27年以来2年ぶりとなる。

質 問 高齢者への事故防止対策について

福祉こども課長 運転免許証返納者の外出機会の確保について社会福祉協議会では、ゆうあいバス事業を行っている。回数券やタクシー券の実施については、検討中である。

質 問 ゆうあいバスの利用状況について

防犯パトロール

総務課長 町内の犯罪発生状況は、平成30年中の発生件数は74件で平成29年度と比較して27件減少。内訳では自転車盗20件、器物破損10件、万引き9件となっている。地域安全推進員や須賀川防犯指導隊鏡石分隊

質 問 町内の窃盗の発生状況について

質 問 町内の窃盗の発生状況について

質 問 町内の窃盗の発生状況について

質 問 土地家屋の評価額の算出について

税務町民課長 地方税法第341条・第409条において固定資産税は、適正な時価課税標準とする。土地と家屋については、原則として三年間評価額を据え置き三年毎に評価を見直す。土地の評価については固定資産評価基準による。家屋の評価については、土地と同様に固定資産評価基準に基づき再建築価格を基準とし、評点一点あたりの価格を乗じて算出し経過年数や物価水準に必要に応じた減点補正率を乗じて評価額が算定される。

質 問 土地家屋の評価額の算出について

総務課長 平成27年度供用開始、本年6月1日現在、24室中16世帯30人が入居している。

質 問 災害公営住宅の入居状況について



今泉文克議員

〇鏡石町第5次総合計画について 〇安定的な財政確保について 〇産業振興について

質 問 駅東第1土地区画整理事業は、計画から30年近くになるが、その進捗状況は。

町長 平成12年の事業計画認可から20年が経過し、昨年度までに第1工区(約10ha)が完了したこと、現在は第3工区(約12.7ha)の工事着工に向け、準備を進めている。



進む住宅の建築

質 問 仮称「健康福祉センター」の計画があるが、位置づけや内容はどのように計画されているか。

総務課長 分散化・老朽化した公共施設の更新と利便性向上、保健福祉機能の集約化を図る。子育て支援・障がい者支援・高齢者支援と保健センター機能や行政等の機能を備えた総合的な施設を想定している。

質 問 計画地の準工地区26haは、企業誘致の早急な解決が必要であるが。

町長 この工区には、町の先行取得用地が多く分散しており、これらを集積することで利用

質 問 住宅地開発の最終的な住宅戸数計画は、どの程度か。

都市建設課長 計画人口は全体で16500人、戸数では約6000戸の計画である。

質 問 町税の不納欠損が発生しているが、その推移と状況はどうなっているか。

税務町民課長 平成22年度は18500件、42,938千円で、平成30年度は10099件、15,254千円であり、年々縮小傾向にある。

質 問 不納欠損解消に向けた対策はどのようなものになっているか。

税務町民課長 平成28年度に収納グループを設置し、徴収・差押の強化、県税事務所との連携など対策を強化してきた。

産業課長 本年度の田んぼアート実行委員会費が4,400千円、かんかんてらす事業費が17,325千円、かがみいし油田計画事業費が5,585千円となっている。

質 問 それらの事業効果は、どの様に評価しているか。

産業課長 田んぼアートでは観覧者の8割が町外であり新たな観光スポットとなり、経済効果も見られる。かんかんてらす事業についても農業振興、活性化に繋がっている。油田計画では耕作放棄地の解消、景観保持に大きな効果があった。

質 問 田んぼアート展望箇所の改



図書館観覧オープン

教育課長 図書館4階の展示室改修は6月10に竣工し、一般観覧に合わせ、供用開始する。

町長 田んぼアートについては、今年で8年目、10年を一区切りとして評価すべきである。あと2年もつと前へ進めていきたい。かんかんてらす、油田計画については、1年目であり、もつと進化するための一つのきっかけにしていきたい。

第16回定例会において議案（陳情等含）28件を審議

第16回定例会において、28件（条例改正2件、報告認定12件、補正予算3件、陳情8件、委員長発議3件）の議案が審議され、原案どおり可決されました。

議案等番号	議案件名及び概要等	
報告第51号	専決処分した事件の承認	鏡石町税条例等の一部を改正する条例の制定
報告第52号		鏡石町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定
報告第53号		平成30年度鏡石町一般会計補正予算（第6号）
報告第54号		平成30年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
報告第55号		平成30年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
報告第56号		平成30年度鏡石町介護保険特別会計補正予算（第4号）
報告第57号		平成30年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算（第2号）
報告第58号		平成30年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第5号）
報告第59号		平成30年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
報告第60号	平成30年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	
報告第61号	鏡石町一般会計継続費繰越計算書について	
報告第62号	鏡石町一般会計繰越明許費繰越計算書について	
議案第275号	鏡石町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 （保険税率等の減額改正など）	
議案第276号	鏡石町介護保険条例の一部を改正する条例の制定 （低所得者の保険料軽減強化のための減額付加にかかる改正）	
議案第277号	令和元年度鏡石町一般会計補正予算（第1号） （国県補助金確定などによる歳入歳出106,231千円の増額補正）	
議案第278号	令和元年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） （税率確定による歳入予算の組み替え）	
議案第279号	令和元年度鏡石町介護保険特別会計補正予算（第1号） （条例改正による保険料軽減に係る歳入財源の組み替えなど）	
陳情第24号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日本地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情	
陳情第27号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	
陳情第28号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	
陳情第29号	教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める陳情書	
陳情第30号	「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める陳情書	
陳情第31号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書	
陳情第32号	県中都市計画の早期見直しを求める意見書の提出に関する陳情	
陳情第33号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	
意見書案第18号	教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書（案）	
意見書案第19号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）	
意見書案第20号	国連各委員会の「沖縄県民は先住民族と認めて保護すべき」との勧告の撤回を求める意見書（案）	

第16回定例会 審議の結果

*「○」賛成 「×」反対 「-」渡辺定己議長は採決に加わらない。

議案・報告等	結果	小林政次	橋本喜一	古川文雄	菊地洋	長田守弘	畑幸一	井土川好高	大河原正雄	今泉文克	木原秀男	渡辺定己
報告第51号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第52号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第53号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第54号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第55号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第56号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第57号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第58号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第59号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第60号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第61号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
報告第62号	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
議案第275号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
議案第276号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
議案第277号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
議案第278号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
議案第279号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第24号	継続審査	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第27号	継続審査	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第28号	継続審査	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第29号	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第30号	不採択	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	-
陳情第31号	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
陳情第32号	不採択	×	×	×	×	×	×	欠	×	○	×	-
陳情第33号	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
意見書案第18号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
意見書案第19号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-
意見書案第20号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-